

止血・被覆・骨折処置(三角巾)

人数	時間	場所	用意するもの
2人～	30分～	屋内外どこでも	三角巾、副木 消防署で貸出可

○止血法（直接圧迫止血法）

・出血部位を確認し、ハンカチやタオルを当ててその上から手で押さえます。止血を行う際には、感染予防のため傷病者の血液などに直接触れないように、ビニール手袋や手袋代わりにビニール袋を使用してください。



直接圧迫止血法

○三角巾使用上の注意点

- ・三角巾で滅菌処理されているもの以外は、三角巾そのものを直接傷口にあてないようにし、滅菌ガーゼ等をあててから包帯をすること。
- ・解きやすいように結ぶこと。
- ・全巾として使用する場合は必ず基底部分を3～5cm折り上げ、折り返した方を外側にすること。
- ・たたみ三角巾は、傷口の大きさや場所に依りて適当な幅および大きさとし、傷口の上に結び目がこないようにする。

【訓練スケジュール（例）】

・骨折処置訓練や頭部、肘（膝）、前腕などの被覆法について実演を交えて行います。

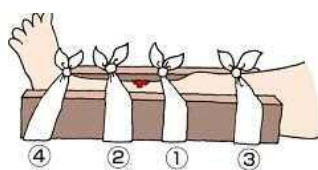
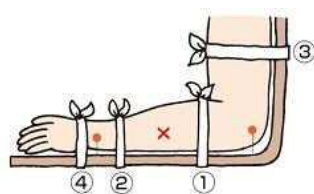
① 訓練説明

（目的、概要など）

② 処置方法の説明、実演、訓練（2人一組のペアを作り、交互に訓練）

③ 処置方法ごとに②を繰り返す

④ まとめ



⑤ 前腕や足のすねを骨折した場合

⑥ 腕を三角巾で吊る場合

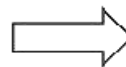
・2関節（前腕の場合は手首と肘、すねは足首と膝）にわたるように三角巾や包帯等で固定します

・骨折部を挟むように、①～④の順で固定します

※雑誌とテープを使って代替することもできます。



三角巾を広げて左図のように当てます。



左図で下に垂らした三角巾の端を上端と反対の方に向け、首の後ろで結び、最後に肘の端を縛ります。

※ビニール袋を使って腕をつることもできます。